

令和5年度第1回四街道市子ども・子育て会議 会議録（概要）

日 時 令和5年11月9日（木）午後2時～午後3時30分
場 所 四街道市役所新館5階第1・2会議室
出席委員 伊藤会長、千脇副会長、安部委員、青柳委員、西村委員、村井委員、
利光委員、林委員、森委員、棚橋委員、笹原委員、阿部委員、富樫委員
欠席委員 楠岡委員、窪委員
事務局 山崎健康こども部長、川田健康こども部副参事
子育て支援課：笠松課長、能勢課長補佐、石川主任主事
保育課：川口課長、安永課長補佐、秋山係長、塚本主査補
健康増進課：塩田課長
計画策定受託業者：（株）スピードリサーチ
傍聴人 0人

――― 会議次第 ―――

- 1 開会
- 2 会長挨拶
- 3 部長挨拶
- 4 委嘱状交付
- 5 議題
 - ①四街道市こどもプラン～第2期子ども・子育て支援事業計画～の令和4年度の評価について【資料1、2】
 - ②次期計画策定に向けた市民調査の実施について【資料3、4-1～4】
- 6 その他
- 7 閉会

――― 議事概要 ―――

○開会

○会長挨拶

○部長挨拶

○委嘱状交付

《西村委員に健康こども部長より委嘱状を手交》

四街道市子ども・子育て会議条例第3条第2項第2号「保健医療関係団体の推薦を受けた者」について、保健推進員の任期満了に伴い、以下のとおり委員の異動を行った。

片山委員…令和5年3月31日付け辞任（保健推進員退任のため）

西村委員…令和5年4月1日付け委嘱（後任として保健推進員の推薦により）

○会議の公開・非公開の決定、会議録の作成について

伊藤会長 本日、傍聴者はいないが、本会議は原則公開とし、審議の内容により非公開と

する場合については、皆様にお諮りして決定したいがよろしいか。

《異議なし》

伊藤会長 会議録の発言者名は、会議の公開に関する規定により明記することとなっているため、本会議においても同様とする。

**○議題① 四街道市こどもプラン～第2期子ども・子育て支援事業計画～の令和4年度の
評価について**

伊藤会長 議題①「四街道市こどもプラン～第2期子ども・子育て支援事業計画～の令和4年度の評価について」事務局より説明をお願いします。

事務局 《資料1、2について説明》

伊藤会長 ただいまの説明について何か質問はあるか。

安部委員 資料1の2ページ、「まちづくりへの参加促進」について、吉岡小学校でアンケートを実施したとのことで、今後もこのような機会を設けて子どもの意見を取り入れていただけると良い。吉岡小学校の児童からはどのような意見が出て、どのような決定をしたのか。

事務局 都市計画課に確認し、後日回答したい。

千協副会長 資料2の4ページ、「地域における子育ての推進」の実施状況について、子育てをサポートする市民活動団体1団体とはどこか。

事務局 政策推進課に確認し、後日回答したい。

青柳委員 資料2の10ページ、「小児保健医療体制の充実」について、今までは昼夜帯、深夜帯、朝6時までの時間帯で行っていたが、今年の4月から深夜帯がなくなって夜11時までになった。そのことで影響などはないか。

事務局 今のところは保護者の方から困っているという電話はない。

青柳委員 深夜帯については、フリーの病院で受けてもらっているということか。

事務局 そうだと思う。

棚橋委員 1点目、資料2の3ページ、「病児・病後児保育」について、対象の病院の医療機関のホームページを見たところ休止中になっていた。再開の目途はどのようになっているか。

2点目、資料2の30ページ、「放課後児童健全育成事業（こどもルーム事業）」の目標値が令和5年度1,024人、令和6年度1,101人になっている。増やすという事は、令和5年度中に具体的な動きはあるのか。

事務局 1点目の「病児・病後児保育」について、下志津病院に委託をしているが、保育士不足により6月から休止中になっている。再開に向けて定期的に調整を行っているところだが、保育士募集を行っても応募がない状況である。今後は、保育士の派遣を導入していただくなど調整して事業再開に向けて進めていく。2点目の「放課後児童健全育成事業（こどもルーム事業）」について、実際に利用する児童数も増えてきている。令和5年度の整備はしないが、今後、いくつかのルームで利用児童数が定員を超える見込みがあるため検証していく。

阿部委員 子どもたちのこどもルームへの入所希望がとても多い。保護者が働きたい、働かざるをえない中で、こどもルームを学校敷地内に整備していただきありがた

いと思っている。まだ希望の多いところがあるので、引き続き増設を検討していただきたい。民間委託が2年目になり、以前と保育内容は大きく変わっていないと思うが、保護者、支援員から意見があれば伺いたい。

事務局 JR線の北と南に分け、それぞれ別の事業者へ委託している。保育内容については市の契約仕様書に基づいて行っているため、基本的には変わらない。ただ、各ルームの支援員の保育方法があるため、若干変化はあったと思う。ご意見については、支援員会議に市職員も同席し、情報交換等を行っている。

千協副会長 以前からルーム支援員が足りないという話はあったが、事業者へ委託したことにより人員が確保できたのか。また、保育内容について、市は事業者任せではなく、現場視察をしているのか。

事務局 こどもルームの人員確保については、支援員に余裕のあるルーム、ないルームがあるが、事業者で募集を頑張ってもらい、改善されてきている。現場視察については、25ルームあるため頻繁ではないが、各ルームを見回ってご意見をいただいている。

千協副会長 人員が足りない中でルームを増やしていくというのは、子どもたちに影響があると思うので、ルームを増やす以外の対策も考えていただきたい。

棚橋委員 千葉市、さいたま市では、放課後子ども教室とこどもルームの一体化に取り組んでいる。こどもルームのガイドラインは手厚く明確に記載されているが、放課後子ども教室は、支援員などのことは手厚く記載されていない。報道では、待機児童解消に役立っているようなことを言われているが、安易な考えで一体化を進めてほしくない。千葉市の放課後子ども教室では、イベントを行うおとなが一人しかおらず、子どもの具合が悪くなっても1人で対応しなければならない状況があると聞いた。施策を考える際はそのようなことが起きないようにお願いしたい。

○議題② 次期計画策定に向けた市民調査の実施について

伊藤会長 議題②「次期計画策定に向けた市民調査の実施について」事務局より説明をお願いする。

事務局 《資料3、4-1～4について説明》

伊藤会長 ただいまの説明について何か質問はあるか。

阿部委員 郵送とのことだが、子どもは親に遠慮する。困っている子は特に遠慮する。家庭でやるとききちんとした回答が出てくるか心配。何かいい方法があればいいが。

千協副会長 今、学校で1人1台タブレットがある。子どもたちもWEB回答できるのではないか。そうすれば不登校の子でも回答できるのではないか。

笹原委員 1,000人ランダムで足りるのか。偏りが出るのではないか。

事務局 WEB回答について、WEB回答を追加すると費用も上がり、予算の範囲内に収めることが難しく、また、私立校に通うお子さんも含めて全員に回答いただくため、郵送配布・郵送回収とした。

千協副会長 併用もできないか。

- 事務局 WEB 回答を追加するにはシステム開発費もかかり、委託料が高くなってしまう。ランダム抽出について、小学生のお子さんと未就学児のお子さんはそれぞれ 5,000 人ほどいるが、全体の人口に対する各学年・各小学校区の割合が同じになるように 1,000 件ずつ抽出している。その中で、特定のご家庭に偏らないようランダムに必要な件数を抽出したという意味で無作為抽出ということになっている。
- 千脇副会長 WEB 集計と紙集計はどれほど手間と金額が違うのか。システム開発する方が費用がかかるのか。
- 事業者 まず、今回の業務委託の当初の仕様が WEB 回答を想定していなかった。また、WEB 回答の場合、お子さんの情報を捨っていくのでセキュリティのがっちりしたものを作らなければならない。つまり、ID とパスワードをしっかりと管理できるシステムを作っていかなければならず、通常の紙回答の郵送費と比べるとコスト的には予算内に収まらない金額になる。
- 千脇副会長 学校のタブレットでは、そのセキュリティが満たされていないということか。
- 事業者 学校のタブレットの問題ではなく、ID とパスワードを個別に割り当てないと、代理回答や、ひとりで何回も回答できてしまう。もちろん、全国では WEB 回答を使っているところもあり、WEB 回答のみというところもある。その場合、人数分の ID とパスワードはすべてバラバラのものになり、バラバラの QR コードにする。それを案内文に貼っていく必要がある。そのための差し込み印刷にコストがかかる。また、親が子どものパスワードを使って入れないように案内文を別々にする必要もある。学校で行うケースもあるが、学校で時間をとっていただけるかという問題がある。また、友達の前では答えづらい、のぞき込まれたら嫌だなという設問もある。そのような観点から、今回は、保護者が子どもの回答を見ないようにする配慮をしながら郵送で行いたい。回収率については、紙回答と WEB 回答とではそれほど差は出ない。
- 千脇副会長 作業的な差はどうか。
- 事業者 作業的には、WEB 回答の方がデータ入力がない分、若干少ない。ただし、論理的な矛盾回答があった場合にもそのまま受け付けてしまうため、エラーが出ないようにするための手間がかかるなど、準備作業の段階でのコストが格段に違う。
- 伊藤会長 意見はいろいろあると思うが、今回は郵送ということで理解をお願いします。
- 千脇副会長 資料 4-3 の子ども票の間 21 は特に深刻な内容である。すぐにでも対応しなければいけないケースだと思うが、相談先の電話番号を載せるだけなのか。アンケート結果の分析に留めていい内容なのか。
- 事務局 自由に回答できるよう、個人が特定できない無記名方式を採用している。そのため、この選択肢に○を付けたのが誰であるのかは回答からは分からない。ただ、そのような状況について教育や保育の現場、ご近所の方から情報提供があれば、子育て支援課の相談係が迅速に対応している。
- 千脇副会長 子どもがせっかく発信しているのに、見つけてもらえないでいる子どももいるのではないか。自分がヤングケアラーだと思っていない子どももいると聞いた。それに気づく質問になっているのであれば、回答から学校が割り出せれば、学校にそういう子がいるという目安にはなるのではないか。

- 伊藤会長 アンケート後のフォローはあるかという質問であるが、事務局と事業者とで相談して対応していただきたい。
- 事務局 国が示した調査項目を活用したこのアンケートはあくまでも子どもの貧困の状態を知るための調査であり、名前は伏せて行うものである。
- 千脇副会長 調査票の最終ページの案内文を切り取れるようにしていただきたい。
- 事業者 「最終ページにつきましては、切り離してお手元にお持ちください。」というような簡単な一文を別紙で付けるようにする。
- 棚橋委員 資料4-3の間11で学校の部活動について質問しているが、小学校では授業の一環としてクラブ活動を行っていると思うので、回答に迷うのではないか。
また、資料4-2の間18に「父母会の活動の負担が大きい」という選択肢があるが、父母会は半分ほど解散してしまっているので、削除した方がよい。
間28について、小学生の親に対して、今までの子育てを振り返って、市にもっとこうしてほしいと思うことを聞きたいのか、それとも、今後支援してほしいと思うことを聞きたいのか。自分が回答するとしたら、選択肢の1から13の内容ではなく、思春期のこと、放課後の過ごし方、習い事、学費のこと、友達とのことなどを心配している。どういう意図で質問するかによって答え方が変わってくる。
- 事務局 間11について、地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動など、広く何かしらに参加しているかどうかということで、小学生と中学生の両方に質問している。
資料4-1、4-2に関しては、前回の調査票であり、内容は現在精査している。この5年間の間に事業の展開や内容が変わっている部分があるため、削除したり追加をしたりする作業をしているところである。

○その他

- 伊藤会長 事務局より何かあるか。
- 事務局 今後の会議の開催予定について説明する。次回は令和6年2月8日午後を予定している。今後の審議事項の発生や審議状況の影響次第で変更となる場合もある。開催の1ヵ月前には皆様に通知をお送りする。
現委員の皆様が令和6年4月30日までとなっていることから、公募委員の募集を12月1日までの日程で行っている。現任の公募委員であるお三方には募集要項を配布しているため、引き続きのご応募についてご検討いただきたい。併せて、皆様のお知り合い等で適任の方などがいればご応募いただけるようお声掛けいただきたい。また、各関係団体様にも、1月以降に推薦依頼をさせていただくため、よろしく願います。
- 伊藤会長 最後に全体を通して何かあるか。
- 利光委員 資料2の3ページ、「休日保育の実施」について、どこの園に通っていても利用できるのか。その園に通っていなければ利用できないのか。自分の園でも実施しているが、実施することにメリットがあるのか。
- 事務局 休日保育加算という、運営費上の加算はあり、常態的に毎週日曜日を利用している方が対象となっている。

千協副会長 子ども会としてこの会議に参加しているので、資料2の13ページ、「子ども会活動の活性化」について報告したい。子ども会が減ってしまったため、子ども会のない地域のお子さんたちが入れる「子ども会あそぼーよ」という会を設立した。すでに30人ほどが加入している状態で、ここからまた地域に戻すという方向をとっている。コロナ禍で活動が縮小してしまっている中で、逆に「この地区に子ども会がないので作っていいか。」という地域が2～3か所現れ、活動が少しずつ再開している。

○閉会

伊藤会長 以上で本日の子ども・子育て会議を終了する。